

肉牛枝肉研修会

R8.4.15



金賞に坂本さん、岩根さん

肉牛部会は毎年1回、取り引きのある大阪市食肉市場(株)で肉牛枝肉研修会を開いています。42頭(交雑種の部9頭、黒毛和種の部33頭)の出品がありました。入賞者は以下の通りです。

【交雑種の部】

金賞:坂本正信 銀賞:大塚祐次

【黒毛和種の部】

金賞:岩根大三 銀賞:(株)佐々畜産

銅賞:大塚慶英、守川克浩



酪農部会女性部 牛乳贈呈

R8.6.9



父の日に牛乳(ちち)を贈ろう キャンペーンで消費拡大運動

父の日を前に酪農女性部は、牛乳の消費拡大運動を積極的に展開し、管内の保育園や行政にも牛乳を贈りました。「父の日用のビン牛乳」(1本900ml)は予約販売で1024本を届けました。6月9日には、酪農女性部支部長らが本所を訪れ、東組合長らに牛乳を贈り、消費拡大運動の推進や酪農家の現状を報告。東組合長は「より多くの消費者に牛乳を飲んでもらえるよう共にアピールしていきましょう」とあいさつしました。

※このキャンペーンは29年前に酪農部会から発信し、全国へと広がっています。

第20回経済連肉牛枝肉販売促進会 R8.6.5



金賞に坂本さん、斉藤さん

肉牛生産農家の経営安定、熊本県産牛の肉質向上と県産ブランド確立を目的に毎年開かれています。畜産流通センターで開かれ、46頭の出品がありました。管内入賞者は以下の通りです。

【交雑種の部】

金賞:坂本正信

【褐毛和種の部】

金賞:(株)SAITOH FARM

【黒毛和種の部】

銀賞1席:(株)中林ファーム 銅賞:青木公典、内田和浩



交雑種金賞枝肉

広域放牧利用組合 放牧開始

R8.5.20



牧野で新鮮な草を食む牛

肉用繁殖牛の放牧始まる

一貫繁殖牛部会の部会員でつくる広域放牧利用組合は5月20日に入牧式を行い、肉用繁殖牛(黒毛和牛)10頭を第1陣として放牧地に放しました。令和8年度は12月まで延べ100頭を放牧予定です。生産コストの削減と優良子牛生産で地域内・経営内一貫生産を目指します。

※ダニ熱や放牧地からの滑落事故がないよう、県家畜保健衛生所や県北広域本部の協力を得て、3週間に一度検査を行っています。

【部会総会】一貫繁殖牛部会・肉牛部会

畜産部

第28回 一貫繁殖牛部会総会 R8.5.25 経営の安定、後継者支援に注力

令和8年度は、部会推進計画「MNOプラン(新しい世代への継承、個々よりも組織力、明確な目標と成長戦略)」を推進し、経営の安定、後継者支援に力を入れます。防疫体制を強化し、関係機関と連携し、厳しい畜産情勢に対応できる組織づくりを行っていきます。※MNOプランは部会推進計画第5次計画として令和5年から実施。経営管理・新世代・組織化を意味する頭文字から名付けた。平成8年、安定的な肥育素牛確保のため、繁殖事業に本格的に参入し、3年後に部会発足。令和8年度は部会員98戸、飼養頭数は約5800頭。



坂田部会長

部会長あいさつ



〈表彰〉 ※平均販売単価上位者を表彰

雌の部=右田京子、上野勝利、(株)ET FARM TASHIRO

去勢の部=西本文彰、石淵衛章、(株)ナガシオ

ETスモールの部=山本英治

〈繁殖回転率表彰〉

西本文彰、古庄廣継、恒松弘隆

令和7年度 肉牛部会総会 R8.5.29 生産基盤の維持拡大 肉牛生産を守る

令和8年度は、伝染病の侵入防止を重点項目に掲げ、畜舎・車輛等の消毒の徹底を継続。配合飼料価格の協議を継続し、生産性の向上に努めます。肥育技術の向上、衛生管理の徹底、生産基盤の維持拡大で「和王」「味彩牛」「くまもとあか牛」のブランド普及に努め、所得の向上と経営安定を図ります。消費者に安全・安心・美味しいを届け、部会員一丸となって肉牛生産に努めます。



安武部会長



部会長あいさつ



〈表彰〉 ※中・上物率、枝肉単価など8項目のポイント上位者を表彰

交雑研究会 大塚晃生、吉良至誠、坂本正信

褐色毛研究会 (株)SAITOH FARM

黒毛研究会:去勢 (株)佐々畜産、岩根昭徳、(株)出口畜産

黒毛研究会:雌 (株)中林ファーム、山本哲士



©よい食P